

会 議 概 要

会議の名称	令和8年度 第1回湧別町スポーツ推進委員会議
開催日時	令和8年4月28日(火) 18時30分 開会 19時30分 閉会
開催場所	文化センターTOM 研修室
出席者名	委員：石川、小橋、白田、海谷、水牧、松本、遠藤、藤本、 今野、太田各委員 10名 教育委員会：阿部教育長、斉藤課長、藤本主幹、仁木主査 4名
欠席者名	黒田、岸下各委員 2名
傍聴人の数	なし
会議の内容	議案第1号 令和8年度スポーツ振興事業・予算について 協議第1号 ゆうべつアクティブチャレンジ2026について 協議第2号 第41回サロマ湖100kmウルトラマラソン大会 について 協議第3号 湧く湧く「スポーツ推進委員さんのある一日」記事寄 稿の順番について 協議第4号 令和8年度研修予定について
会議資料	令和8年度第1回スポーツ推進委員会議議案
会議録	■ 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備考	

てん末書

記録者職氏名

社会教育課 社会教育グループ 主 査 仁木 宏紀

1. 日 時 令和8年4月28日(火) 18時30分から19時30分まで
2. 場 所 湧別町文化センターTOM 研修室
3. 会議又は用務 令和8年度 第1回湧別町スポーツ推進委員会議
4. 出席者 委員：石川、小橋、白田、海谷、水牧、松本、遠藤、藤本、今野、太田 10名
(欠席委員：黒田、岸下 2名)
教委：阿部教育長、斉藤課長、藤本参事、仁木主査 4名
合計 14名

5. 結果要旨

- 1) 開 会 斉藤課長
- 2) 教育長挨拶 阿部教育長
- 3) 委員長挨拶 石川委員長
- 4) 議 事

以下の議事については委員長が進行を行った。

■議案第1号 令和8年度スポーツ振興事業・予算について

前年度からの変更点、新規事業などについて抜粋して説明。⇒了承

■協議第1号 ゆうべつアクティブチャレンジ2026について

資料に沿って、モルック大会などスポーツ推進委員の出役について説明。出役は詳細確定後調整出する。

■協議第2号 第41回サロマ湖100kmウルトラマラソン大会について

・大会の詳細等を説明し、ボランティア従事者については下記のとおり確定した。

小橋、白田、遠藤、太田、今野各委員(黒田委員については、現在確認中)計6名予定

※従事内容については、スペシャルドリンクの受取、走路誘導とする。

■協議第3号 湧く湧く「スポーツ推進委員さんのある一日」記事寄稿の順番について

・2か月に1回発行する生涯学習情報誌「もっと!!湧く湧く」について、スポーツ推進委員へも依頼する旨説明した。

なお、原稿依頼については、1ヶ月前に依頼文書を送付する。

■協議第4号 令和8年度研修予定について

①北海道スポーツ推進委員研究協議会

・期日 令和8年10月28日(土)～29日(日)

・場所 札幌市

・研修人員 3人(石川、藤本、各委員)もう1名は後日協議

※出席者については変更の場合あり。

②オホーツク管内社会体育振興セミナー

- ・期日 未定
- ・場所 津別町
- ・研修人員 4名 日程確定後調整

③遠紋ブロックスポーツ推進委員研修会

- ・期日 未定
- ・場所 紋別ブロック
- ・研修人員 4名 日程確定後調整

5) そ の 他

6) 委員長挨拶

7) 閉 会

令和8年度

第1回湧別町スポーツ推進委員会議案

◆とき 令和8年4月28日(火)

18時30分～

◆ところ 文化センターTOM 研修室

湧 別 町 教 育 委 員 会

■スポーツ推進委員出席者名簿

氏 名	出欠	氏 名	出欠
小 橋 百合香		水 牧 一 郎	
黒 田 志津保		松 本 桃 子	
石 川 克 己		遠 藤 真 愛	
白 田 ゆかり		藤 本 竜	
海 谷 政 貴		今 野 愛 海	
岸 下 彩 乃		太 田 愛	

■ 教育委員会出席者名簿

- ・ 教育長 阿部 勉
- ・ 社会教育課 課 長 斉藤 健悟
- ・ 社会教育課 参 事 藤本 祐司
- ・ 社会教育課社会教育グループ 主 査 仁木 宏紀

(会 議 日 程)

1) 開 会

2) 教育長挨拶

3) 議 事

議案第1号 令和8年度スポーツ振興事業・予算について P1～4

協議第1号 ゆうべつアクティブチャレンジ2026について P5～8

協議第2号 第41回サロマ湖100kmウルトラマラソン大会について P9～12

協議第3号 湧く湧く「スポーツ推進委員さんのある一日」記事寄稿の順番について P13

協議第4号 令和8年度研修予定について

① 北海道スポーツ推進委員研究協議会

・期 日 令和8年10月28日(水)～29日(木)

・場 所 札幌市(教育文化会館)

・研修人員 2人

② オホーツク管内社会体育振興セミナー

兼遠軽・紋別ブロックスポーツ推進委員研修会

・期 日 未定

・場 所 津別町

・研修人員 4人

4) そ の 他

5) 委員長挨拶

6) 閉 会

議案第1号 令和8年度 スポーツ振興事業、予算について

事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
大会 の 開催 等	①第41回サロマ湖100kmウルトラマラソン	6/28(日)	湧別総合体育館裏	100kmスタート午前5時00分(100kmの部) 総合体育館裏(東道路上)	負担金 3,000千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	②湧別町少年柔道大会「上野カップ2026」	10/10(土)~11(日)	湧別総合体育館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 2,875千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,175千円 歳出総額 3,383千円	
スポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 事 業	①夏の短期水泳初級教室	7月	湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。 講師：藤田千秋(トッカーリ湧波会) 小橋百合香(スポーツ推進委員) 対象：各学園1~4年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	②ニュースポーツdeあそび「モルック大会」	9月	中湧別ゲートボール場	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。アクティブチャレンジ期間中に合わせてモルック大会を実施する。 指導者：スポーツ推進委員 対象：町内に在住の方	スポーツ推進委員 報酬32千円	
講 習 会 事 業	③ジュニアスケート教室	R9. 1/6(水) ~8(金)	芭露スケートリンク	町内の各学園(1~6年生)に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：久保拓也(芭露) 松本桃子(スポーツ推進委員) 藤本祐司(教委職員) 三浦茉歌(教委職員) 対象：各学園1~6年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬10千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	④運動・トレーニング指導「ゆうふいっと。」	4月~3月	湧別総合体育館ほか	町民の健康維持増進と体力の向上を図るとともに、運動の重要性を理解していただき、スポーツを継続してもらい、トレーニング室の利用者増加に繋げる。令和7年度より「ゆうふいっと。」と事業名を定め、町民への認知度を深めるとともに参加者の増加に務める。また、「ゆうふいっと。プラス」として夜にも開催し若年層への参加も促していく。 ■ゆうふいっと。 ・開催回数：月3回 ・講師：教委職員 ■ゆうふいっと。プラス ・開催回数：隔月1回 ・講師：外部委託 ■ゆうふいっと。アクア ・開催回数：2回 ・講師：外部委託 ■ゆうふいっと。ヨガ ・開催回数：4回 ・講師：外部委託	講師謝礼 70千円 委託料 293千円	
事 業	⑤湧別町・レバンガ北海道スポーツ推進事業	4月~3月	湧別総合体育館ほか	レバンガ北海道アカデミーコーチを派遣し、バスケットボールに関わる子どもたちの能力向上はもちろんだが、スポーツをする楽しさを実感していただく。また、バスケットボールをしていない子どもにも運動の大切さを実感してもらう。 予定事業 ①ミニバス少年団、各学園・湧別高校バスケットボール部の定期巡回指導 ②学校授業訪問や町主催事業への参加	委託料 1,386千円	

議案第1号 令和8年度 スポーツ振興事業、予算について

事業計画

スポーツ推進委員事業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	湧別総合体育館ほか	各学園（1～3年生）を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。 ※事業内容は変更になる場合有 5月 入学式・かけっこ教室（上湧別百年記念公園広場） 6月 バルシューレ（湧別総合体育館） 7月 キャンプ（湧別総合体育館裏） 9月 五鹿山マラソン（五鹿山スキー場） 10月 タグラグビー（湧別総合体育館） 11月 器械体操（湧別総合体育館） 12月 バスケットボール（湧別総合体育館） 2月 ボールゲーム（湧別総合体育館） 3月 ミニ運動会・卒業式（湧別総合体育館） 指導者：スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対 象：各学園1～3年生	講師謝礼 器械体操 20千円 バルシューレ 30千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員 報酬240千円	9-1 9-2 9-3
スポーツ推進委員事業	②巡回スポーツ指導	随時	町内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が向向き、ニュースポーツの指導を行う。	スポーツ推進委員 報酬13千円	9-2 9-3
	③スポーツ推進委員研修	随時	管内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 紋別ブロック オホーツク管内社会体育振興セミナー 津別町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 札幌市	スポーツ推進委員 報酬218千円 費用弁償176千円	9-2
団体活動の育成援助等	①少年スポーツ団体の育成援助	年間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2
	②一般スポーツ団体の育成援助	年間	-	体育協会への補助	補助金702千円	9-4
	③大会出場助成	年間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 （湧別町スポーツ・文化遠征費補助金）	補助金2,000千円	9-2
	④合宿誘致助成	年間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 （湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金）	補助金1,067千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	9-1
施設の整備活用	①施設の整備	年間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	②施設の活用	年間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 60千円	
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随時	-	広報周知等 インターネット（スポあんネット）にて加入する。	手数料1千円	9-1

議案第1号 令和8年度 スポーツ振興事業、予算について

関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2026	9/6(日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。
スケート協会	第57回湧別町スケート大会	R9. 1/30(土)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児、小学生、中学生、一般、アトラクション（宝さがし他）
実行委員会	ゆうべつアクティブチャレンジ2026	9/5(土) ~13(日)	町内	笹川スポーツ財団主催である住民総参加型のスポーツイベント「アクティブチャレンジ」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。
	【新規】レバンガ北海道U-15女子合宿	5/3(日) ~5/5(火)	湧別総合体育館	チーム合宿の他、町内学園バド部を含む近隣チームとの練習試合を実施し交流を図る。 合宿予定人員：25名予定
	駒澤大学合気道部合宿	8月	湧別町武道館	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：40名予定
	第41回湧別原野林ツクワカトリスキー大会	R9. 2/28(日)	遠軽町→湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km

議案第1号 令和8年度 スポーツ振興事業、予算について

施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	備考
湧別プール	プール底掃除機	1,098	
湧別町運動公園	運動公園グラウンド修繕	1,808	
	照明自動点灯盤（コイン式）取替修繕	980	
芭露パークゴルフ場	芭露パークゴルフ場芝修繕	2,596	
	合計	6,482	

協議第1号

ゆうべつアクティブチャレンジ2026事業計画について

ゆうべつアクティブチャレンジ2025の実施は、令和7年度より公益財団法人 笹川スポーツ財団が新たに開始した住民総参加型スポーツプログラム「SSFアクティブチャレンジ～スポーツで元気なまちづくり」に基づくものです。本プログラムは、これまで実施されてきたチャレンジデーの理念を継承しつつ、住民一人ひとりが日常生活の中で運動やスポーツに親しむ機会を創出し、運動習慣の定着を図るとともに、スポーツを通じて地域が抱える様々な社会課題の解決につなげることを目的として全国で展開されているものです。

本町においては、本プログラムの趣旨に賛同し、住民の健康づくりの推進及び地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域課題の解決に向けたきっかけづくりとすることを目的として、「ゆうべつアクティブチャレンジ2025」を8日間のチャレンジ期間として実施しました。期間中は、各種スポーツ活動や運動機会の創出に取り組むとともに、町民、団体、事業者及び行政が連携しながら、誰もが気軽に参加できる運動・スポーツの取組を推進しました。

令和8年度においても、引き続き本町の健康づくり及びスポーツ振興を推進するため、「SSFアクティブチャレンジ～スポーツで元気なまちづくり」に参加し、「ゆうべつアクティブチャレンジ2026」を実施いたします。

実施期間については、より多くの住民が参加しやすい環境づくりを図るため、昨年度より1日延長し、令和8年9月5日(土)から9月13日(日)までの9日間をチャレンジ期間として設定します。これにより、子どもから高齢者まで幅広い世代が、それぞれの生活スタイルに合わせて運動やスポーツに参加できる機会の充実を図ります。

本実行委員会としては、本事業を通じて住民の健康づくりの推進及びスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲の向上を図るとともに、地域で抱える社会課題の解決に向けた取組を進め、住民及び地域のさらなる一体感と活力の醸成を目指します。また、住民、各種団体、事業者及び行政が連携・協働しながら、スポーツを通じた地域づくりの推進に取り組んでいきます。

1. 開催日時

令和8年9月5日（土）から13日（日）までの9日間

2. 参加対象

チャレンジ期間内に湧別町内にいる人すべてが対象です。町民以外にも通勤・通学者、観光客なども対象となります。

3. 参加者集計

本実行委員会事務局（社会教育課）に集計センターを設置し、期間の参加者数（延べ参加者数）を集計します。

4. 参加方法

◆実施種目（プログラム）

行う運動やスポーツで、個人や家族で日常的に実施するもののほか、実行委員会、団体及び職場等が任意に設定できます。実施プログラムの内容によって、インストラクターなどの指導者の派遣を必要とする場合は、実行委員会事務局（社会教育課）にご相談ください。

◆参加報告

町公式ホームページの報告フォーム、ファックス、電子メール、電話で実行委員会事務局へ参加報告を行っていただきます。

5. 実施プログラム

◆実行委員会等が主催するプログラム（予定）

①異業種間交流スポーツ大会（ベースボール5）

各事業所で5人1チームを結成し、対決する。自分の業種と異なる方とスポーツを通じて出会い、交流するとともにチームワークを高め仕事の生産性を高めることを目的とした大会。

②世代間交流スポーツ大会（モルック大会）

ルールがシンプルで、老若男女や障がい者など幅広い層が楽しめるモルックを行うことで地域コミュニティを活性化させるプログラム。

③認知症予防健康体操会

認知機能の維持や向上を図ることを目的とした認知症予防健康体操を湧別町主催の敬老会にて実施するプログラム。

④レバンガチアダンスチャレンジ

レバンガ北海道チアダンスチームによるダンス教室を実施し、プロの指導による質の高い体験を提供することで、運動意欲の向上や自

己肯定感の醸成、仲間と協力する力を育む。挑戦する楽しさを実感させ、継続的な運動や地域への関心につなげる。

【その他プログラム】

- ⑤五鹿山マラソン大会、⑥町民ラジオ体操会、⑦元気まつり
- ⑧健康ヨガ体操、⑨大筋クラブ、⑩育児学級運動会、⑪ゆうふいっと。
- ⑫スポーツ施設無料開放

◆サークル及び団体で実施するプログラム

各団体の日常の活動に加えて、創意工夫により主体的にプログラムを企画していただくよう、また、通常、別の日程で行っている取り組みをアクティブチャレンジに合わせて実施していただくよう実行委員会構成団体をはじめ各サークルに依頼します。

地域の連帯感を強めるため、自治会、産業団体等の青年部や女性部等においては、それぞれの団体が連携・協力してアクティブチャレンジに取り組んでいただけるよう依頼します。実行委員会プログラムへ自治会として参加することもお検討ください。

なお、自治会における独自のプログラム企画・実施に当たっては、積極的な地域スタッフの活用を推奨します。

◆個人で実施するプログラム

個人や家族単位で散歩・ウォーキング、ジョギング、ラジオ体操・軽い体操、筋力トレーニング、サイクリングなど、運動やスポーツを楽しんでいただくよう啓発します。

※サークル、団体、個人で実施するプログラムとして、学校の授業や部活動、農業や漁業等の仕事を含めることはできませんので、ご注意ください。

6. 参加特典

実行委員会主催のプログラムに参加された方には、参加賞を進呈するほか、団体、サークル、事業所単位でプログラムを実施される場合には、プログラム参加者数分の参加賞を用意します。

※団体等において複数のプログラムを実施する場合でも、参加賞の受け取りは、一団体1回までとします。

7. 町民周知・広報

町公式HPへの掲載、周知用チラシの新聞折込、実行委員会構成団体、スポーツ団体、町内事業所及び企業へ参加依頼などにより、住民の参加を促します。

8. 実施報告

アクティブチャレンジの実施結果については、広報ゆうべつ及び町公式ホームページ社会教育課インスタグラムなどで町民へ速やかに報告します。

協議第 2 号

第 4 1 回サロマ湖100kmウルトラマラソン 開 催 要 項

主 催 (一財)北海道陸上競技協会・北見市・湧別町・佐呂間町・北海道新聞社
 主 管 サロマ湖 100km ウルトラマラソン実行委員会・オホーツク陸上競技協会
 後 援 国際ウルランナーズ協会 (I A U) ・北海道・北海道教育委員会
 (公財)北海道スポーツ協会・(公社)北海道観光機構・(公財)北海道市町村振興協会・
 NHK北見放送局・北見市スポーツ協会、湧別町体育協会、佐呂間町スポーツ協会・(一
 社)北見市観光協会常呂支部・湧別町観光協会・(特非)佐呂間町観光協会・北海道救急
 医学会 *予定

企画運営協力 (一財)アールビーズスポーツ財団

種 目 陸連登録者の部(100km) 一般の部(100km・50km)

期 日 2026年 6月28日(日)

100kmの部 午前 5時 湧別総合体育館前スタート

50kmの部 午前10時 佐呂間町100年広場前スタート

コ ー ス サロマ湖 100km ウルトラマラソンコース IAAF/AIMS 認証・日本陸連公認

100kmの部 湧別総合体育館前スタート 常呂町スポーツセンターゴール

50kmの部 佐呂間町 100年広場前スタート 常呂町スポーツセンターゴール

競技規則 2026世界陸上競技連盟競技規則及び2026年度日本陸上競技連盟競技規則並びに
 本大会申し合わせ事項により行う。

参加資格 (1) 100kmを13時間以内で完走できる走力を有する男女
 50kmを8時間以内で完走できる走力を有する男女

(2) 車椅子での参加は不可

(3) 大会当日に19歳以上の男女

競技方法 (1) 関門での打ち切り時刻を次のとおり設定し、制限時間内に関門通過できない場合は、
 以降のレースを続けることはできない。(距離・時間は、変更になる場合あり。)

100Km の部	10km	20Km	30Km	41Km	50Km	60Km	69Km	79.3Km	91.5Km	ゴール
	6:23	7:39	8:55	10:20	11:30	12:48	13:59	15:19	16:54	18:00
50Km の部						11.7Km	19Km	29.3Km	41.5Km	ゴール
						11:45	13:59	15:19	16:54	18:00

(2) 各関門通過後、次関門の打ち切り時刻を過ぎた場合は速やかにレースを中止しなければならぬ。

(3) 関門の打ち切り時刻を過ぎた選手及びレースの中止を命じられた選手はナンバーカードを取り外し、選手収容車に乗ること。

(4) 本大会記録は、ランナーズチップにて計測する。

募集人員 100kmの部：3,600人 50kmの部：600人

参加料 100kmの部：21,000円 50kmの部：15,000円

*事前発送費：1,000円

*参加料・事前発送費は原則、返金しない

*大会中止の場合、参加賞等を事前発送する。

募集期間 2026年 1月26日(月)午後 8時から

2026年 2月13日(金)午後11時59分まで

表 彰 (1) 6月28日(日)北見市常呂町百年広場で実施

(2) 各種目男女総合1位から3位までの入賞者

(3) 100km 陸連登録者の部の男女優勝者に日本陸上競技連盟より陸連杯を贈呈

(4) 完走者全員に完走メダルを授与

ドーピング
国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則により行う。

第41回サロマ湖100kmウルトラマソン／参加者内訳

◆種目別参加者内訳(人)◆

種目名	人数
100K登録男子	566
100K登録女子	88
小計	654
100K一般男子	2,557
100K一般女子	456
小計	3,013
100K合計	3,667
50K男子	376
50K女子	193
50K合計	569
合計	4,236

◆招待選手(人)◆

種目名	人数	選手名
100K登録男子	2	
100K登録女子	4	
100K男子	3	
100K女子	1	

◆最年少・最高齢

種目名	最年少		最高齢	
	男子	女子	男子	女子
100km	19	19	87	73
50km	19	22	85	85

◆都道府県別参加者内訳(人)◆

都道府県	男子	女子	合計		
北海道	1689	335	2,024	東北	
青森県	8	0	8		
岩手県	7	1	8		
宮城県	23	2	25		
秋田県	10	0	10		
山形県	7	1	8		
福島県	3	2	5		
茨城県	36	6	42		
栃木県	11	1	12		
群馬県	16	6	22		
埼玉県	130	23	153	関東	
千葉県	123	21	144		
東京都	506	129	635		
神奈川県	259	51	310		
新潟県	22	2	24		
富山県	9	2	11		
石川県	9	2	11		
福井県	5	0	5		
山梨県	12	3	15		
長野県	14	3	17		
岐阜県	13	1	14	北陸・甲信	
静岡県	36	1	37		
愛知県	92	18	110		
三重県	11	4	15		
滋賀県	25	2	27		
京都府	34	12	46		
大阪府	122	34	156		
兵庫県	80	20	100		
奈良県	16	5	21		
和歌山県	5	0	5		
鳥取県	4	0	4	東海・近畿	
島根県	1	0	1		
岡山県	8	1	9		
広島県	17	1	18		
山口県	7	4	11		
徳島県	9	23	32		
香川県	9	1	10		
愛媛県	11	1	12		
高知県	9	0	9		
福岡県	41	12	53		
佐賀県	5	0	5	中国・四国	
長崎県	0	0	0		
熊本県	3	2	5		
大分県	4	0	4		
宮崎県	0	0	0		
鹿児島県	6	1	7		
沖縄県	9	2	11		
海外	23	2	25		九州・沖縄
海外	23	2	25		

※重複、2種目エントリーを含む

◆年代別参加者内訳(人)◆

	100K				100K計	50K		50K計	合計
	登録男子	登録女子	一般男子	一般女子		男子	女子		
10歳代			2	1	3	2		2	5
20歳代	24	3	177	34	238	26	12	38	276
30歳代	60	16	285	50	411	29	12	41	452
40歳代	140	21	683	99	943	59	31	90	1,033
50歳代	231	30	908	188	1,357	80	67	147	1,504
60歳代	100	18	446	82	646	109	60	169	815
70歳代	10		55	2	67	67	9	76	143
80歳代	1		1		2	4	2	6	8
小計	566	88	2,557	456	3,667	376	193	569	4,236

◆エリア別参加者内訳(人)◆

エリア	男	女	計	割合
北海道	1,689	335	2,024	47.78
(北見市)	123	23	146	3.45
(湧別町)	12	4	16	0.38
(佐呂間町)	24	4	28	0.66
東北	58	6	64	1.51
関東	1,081	237	1,318	31.11
北陸・甲信	71	12	83	1.96
東海・近畿	434	97	531	12.54
中国・四国	75	31	106	2.50
九州・沖縄	68	17	85	2.01
海外	23	2	25	0.59
計	3,499	737	4,236	

◆1市2町種目別参加者内訳(人)◆

種目	北見市		湧別町		佐呂間町		計
	男	女	男	女	男	女	
100K登録の部	6						6
100K一般の部	77	11	10		14		112
50Kの部	40	12	2	4	10	4	72
合計	123	23	12	4	24	4	190

第41回サロマ湖100kmウルトラマラソン／湧別町情報

【湧別町 16名】

氏名カナ	氏名漢字	性別	年齢	所属クラブ名	種目名
イシカワ カツミ	石川 克己	男	58	YSAC	100K男55～64
カナタ シンイチ	兼田 真一	男	51		100K男45～54
ノウ タケシ	工藤 健	男	55		100K男55～64
ノウ ユキ効	工藤 雄希峰	男	43	工藤漁業部	100K男35～44
サワグチ トシヒロ	澤口 敏洋	男	50	遠軽太陽の丘	100K男45～54
ニキ ヒロリ	仁木 宏紀	男	43	YSAC	100K男35～44
フジモト リョウ	藤本 竜	男	25		100K男25～34
ミスマキ イチロウ	水牧 一郎	男	52	YSAC	100K男45～54
ミネタ ミル	峯田 実	男	45	YSAC	100K男45～54
ヨリタ コウジ	依田 広司	男	48	YSAC	100K男45～54
イン カズヨ	因 和代	女	57	グッジョブ	50K女55～64
オガサワラ ジュン	小笠原 淳	男	53		50K男45～54
カタ カナエ	刈田 かなえ	女	58	YSAC	50K女55～64
コンドウ トモヒロ	近藤 智広	男	48	芭露人	50K男45～54
モウリ ミキコ	毛利 美紀子	女	65	オホツク原人会	50K女65歳以上
ヨリタ カオリ	依田 歌織	女	54	YSAC	50K女45～54

協議第3号

もっと!!湧く湧く「社会教育委員のある一日」記事寄稿の順番について
令和8年度

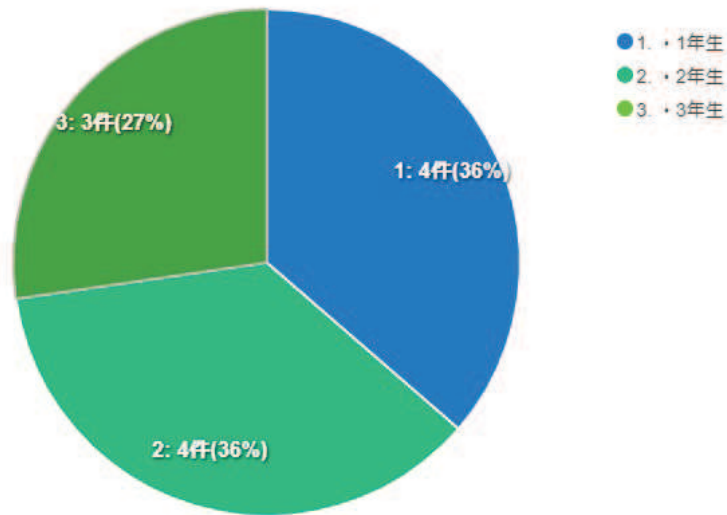
※原稿締切日の1カ月前くらい前に依頼文書を送付いたします。

社会教育委員	スポーツ推進委員	図書館協議会委員	計画	原稿締切日
深谷 聡			R8年 5月号	4月下旬
	松本 桃子		R8年 7月号	6月下旬
山本 重幸			R8年 9月号	8月下旬
		図書館協議会委員	R8年11月号	10月下旬
杉原 武純			R9年1月号	12月下旬
	小橋 百合香		R9年 3月号	2月下旬

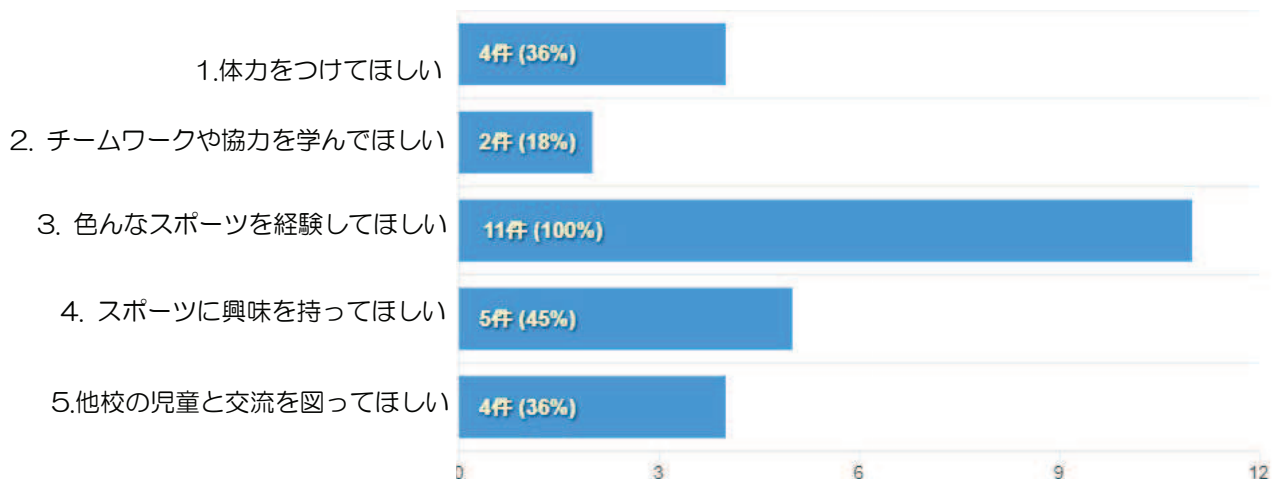
チャレンジスポーツスクール参加者アンケート調査結果

「48世帯（55人中）、11人回答 回答率21.91%」

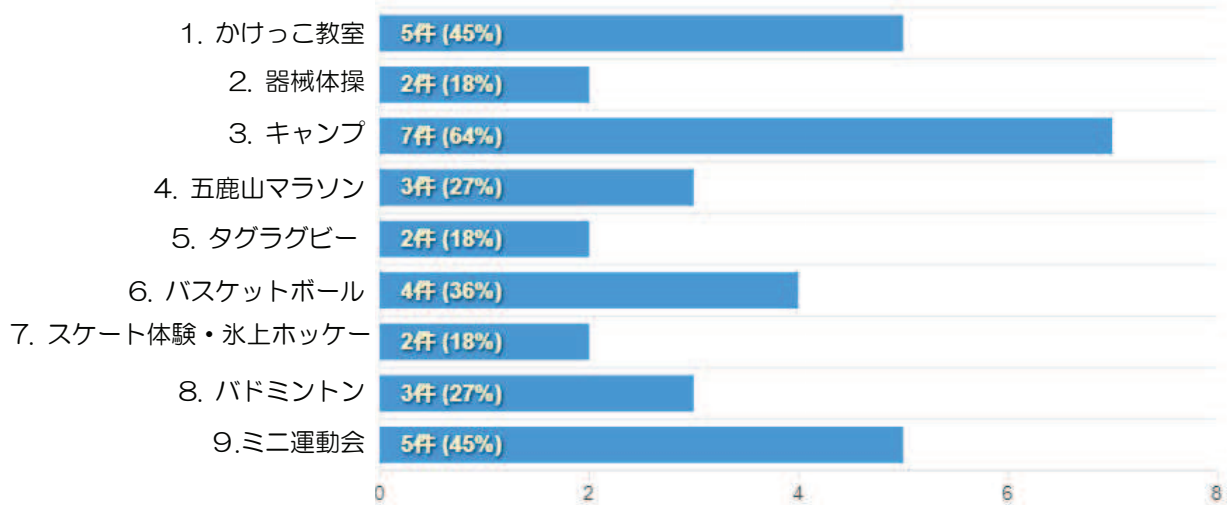
【1.お子様の学年を教えてください。】



【2.チャレンジスポーツスクールに入学した理由を教えてください。】



【3.今年度実施した教室の中で楽しかった活動を教えてください。】



【4. チャレンジスポーツスクールを通して体験したいスポーツがあれば教えてください。】

- ・野球
- ・ミニバレー
- ・ダンス
- ・サッカー
- ・卓球
- ・バレーボール
- ・ドッチボール
- ・ボルダリング

【5. その他、何かご意見やご要望があればご記入ください。】

- ・とても有難い活動だと思っています。ありがとうございます。
- ・楽しくやっていました。ありがとうございました！
- ・せめて学校行事とは重ならないようにしてほしい。
- ・特にありません。毎回とても楽しかったようです。3年間どうもありがとうございました。